

八月読み取りおけいこ（高）②

名前（

）

七月三十一日は愛宕神社の千日まいりです。愛宕山にのぼったことはありますか？海拔九二四メートルで、八四八メートルの比叡山よりも高い山です。てっぺんにある愛宕神社のおまつりで、この日におまいりすれば一回でも千日おまいりしたのと同じご利益があると信じられ、たくさんの人でにぎわいます。八月を山上でむかえる人もいます。もともと、愛宕神社は白雲寺というお寺とセットで、勝軍地藏というお地藏様がまつられていました。戦に勝たせてもらえるということで戦国武将に大人気でした。

織田信長を本能寺でうつ前に、明智光秀がのぼったことはよく知られています。東北の雄、伊達政宗も家来をおまいりに行かせています。

ところが、江戸時代になると徳川家が世の中を治め、戦そのものがなくなります。そうするとおまいりの人が減ってしまうので、「火よけ」に、よくきくとご利益の宣伝をしたのです。

「三才までにのぼると一生火事にあわない」とか「お札を台所にはれば火事よけになる」とかいって、京の町中で月まいりをするようになりました。

千日まいりならではのあいさつが「おのぼりやす」「おくだりやす」です。のぼる人は「おくだりやす」と下ってくる人に声をかけ、下る人はのぼってくる人に「おのぼりやす」と声をかけます。

のぼるなら、伊能忠敬がのこしたマークがないかがしめてみてください。一八一四年二月二十五日に彼はのぼって嵯峨の釈迦堂前の大坂屋というはたごにとまっています。ただ、のこしたマークは見つかっていないのです。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

まいり（

② 愛宕山は比叡山より何メートル高いのですか。

③ この日はなぜこの山がにぎわうのですか。

④ 明智光秀が山の上でいのった内容はどんなことですか？

⑤ ご利益を何と読みますか？

⑥ 戦に勝たせてくれると信じられた仏様は？

⑦ 火よけによくきくと広められたのは何時代？

⑧ はたごとは今でいえば何のことですか？

（ ） レストラン （ ） ホテル （ ） 銭湯

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） お札にはおのぼりやすと書かれている。

（ ） 平和なときには勝軍地藏の出番はない。

（ ） おさつを台所にはると火事にあわない。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

